

J:COM オリジナルチャンネル「J:テレ」 「パリ 2024 パラリンピック」を放送決定

JCOM 株式会社(J:COM、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岩木 陽一)は、2024年8月28日(水)から9月8日(日)に開催される「パリ 2024 パラリンピック」を J:COM のオリジナルチャンネル「J:COM テレビ」(「J:テレ」)で、放送することを決定しました。



J:COM では、長年にわたり地域のパラアスリート密着番組の制作やパラスポーツ競技大会の放送に取り組んでまいりました。その経験を生かし、2021年8月に開幕した「東京 2020 パラリンピック」では、ケーブルテレビとして初のパラリンピック放送を実施しました。その後、「北京 2022 パラリンピック」と続き、この度、3回目のパラリンピック競技大会の放送となります。
放送競技など番組詳細については、2024年7月に発表予定です。

「J:テレ」は、J:COM の有料サービスへの加入・未加入を問わず、J:COM ネットワークに接続済みの世帯であれば無料で視聴できるオリジナルチャンネルで、提供サービスエリア内の約 1,416 万世帯がご視聴いただけます。

J:COM のサステナビリティ

J:COM では、事業活動を通じたサステナビリティ経営を推進しています。お客さまの豊かな「暮らし」を支える企業として、持続的な「地域社会」へ貢献を行い、その土台である「地球環境」と関わるすべての「人」を対象として、4つのマテリアリティと、さらに具体化した12のサブマテリアリティを2023年度に再設定しました。

<本事業と関連するマテリアリティ>

マテリアリティ:「ウェルビーイングの実現」 サブマテリアリティ:「DE&Iの推進と人財の育成」



J:COM は「すべての人を大切にする」という価値観の下、従業員一人ひとりが自分らしく能力を発揮できる機会の拡充やキャリア形成を支援し、多様な個性や価値観が尊重される豊かな社会の実現に貢献していきます。

JCOM 株式会社について <www.jcom.co.jp/>

JCOM 株式会社(ブランド名 J:COM、本社:東京都千代田区)は、1995年に設立された国内最大手のケーブルテレビ事業・番組供給事業統括運営会社です。ケーブルテレビ事業は、札幌、仙台、関東、関西、九州・山口エリアの11社65局を通じて約568万世帯のお客さまにケーブルテレビ、高速インターネット接続、電話、モバイル、電気、ホームIoT等のサービスを提供しています。ホームパス世帯(敷設工事が済み、いつでも加入いただける世帯)は約2,242万世帯です。番組供給事業においては、14の専門チャンネルに出資及び運営を行い、ケーブルテレビ、衛星放送、IPマルチキャスト放送等への番組供給を中心としたコンテンツ事業を統括しています。※世帯数は2024年3月末現在の数字です。